

財政力は？ 自立性は？ 借金は？

数字で見る町の財政健全度

余力 (財政力指数) **0.728**
(前年度比 0.013 ポイント下降)

基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額の3カ年の平均値を用います。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い団体といえます。

自立力 (自主財源比率) **54.2%**
(前年度比 1.6 ポイント上昇)

地方税、使用料及び手数料など、地方公共団体が自主的に収入とすることができる財源の比率で、行政活動の自主性と安定性の尺度といえ、この割合が高いことが望ましいとされます。

借金 (公債費比率) **9.5%**
(前年度比 0.2 ポイント下降)

公債費(町債の元金の返済や利子の支払いなど)が一般財源に占める割合で、この数値が高くなると他の事業に充てる財源を圧迫することになります。

弾力 (経常収支比率) **85.5%**
(前年度比 4.5 ポイント上昇)

経常経費を経常一般財源収入の総額で割ったもので、数値が低いほど普通建設事業などに充当できる財源があり、地方公共団体の財政構造が弾力性に富んでいるといえます。

実質公債費比率 **10.1%**
(前年度比 0.4 ポイント上昇)

一般会計が負担する公債費とこれに準じる額の大きさを数値にしたもの。(早期健全化基準は 25%、財政再生基準は 35%です)

将来負担比率 **80.1%**
(前年度比 2.2 ポイント上昇)

一般会計が将来負担すべき実質的な負債を指標化したもの。(早期健全化基準は 350%です)

実質赤字比率

一般会計の赤字の程度を指標化したもの。(早期健全化基準は 14.01%、財政再生基準は 20%です)

連結実質赤字比率

地方公共団体すべての会計の赤字・黒字を合算して、地方公共団体としての赤字の程度を指標化したもの。(早期健全化基準は 19.01%、財政再生基準は 30%です)

資金不足比率

公営企業会計の、資金不足額の事業規模に占める割合を示したもので、数値が低いほど健全とされます。



寄居町の財政は「健全です！」

財政比率

健全化判断比率

教育費 「お弁当の日」回数増は
大平久幸 食育学習の新たな試みとして「食育の日(お弁当の日)」を2回実施し、家族との新たなふれあいの場が生まれました。回数を増やしたらどうですか。
(答弁) 24年度も2回実施します。今後「食育の日」を増やすことについて検討していきます。

利用者がいます。今後、機器の状態や利用状況を確認しながら検討していきます。

公債費 町民1人当たりの借金額は
田母神節子 基金(貯金) 10億円に対して、地方債(借入金) 残高は90億円と当町予算のほぼ1年分です。町民1人当たりの借入金残額と返済見通しについて伺います。
(答弁) 24年2月1日現在では、1人当たり24万円ほどです。自己財源の確保や借金の繰上償還などを行い、返済期限(20年)内では返せる見通しです。

平成 24 年度補正予算を可決

増額 ▲補正しました ※()内の数字は現行予算に対する増減率です

一般会計 (2回目)	3億 6661万 6000円 (3.6%増)
国民健康保険 特別会計 (1回目)	1億 270万 5000円 (2.3%増)
後期高齢者医療 特別会計 (1回目)	641万 3000円 (2.1%増)
下水道事業 特別会計 (1回目)	192万 3000円 (0.4%増)
農業集落排水事業 特別会計 (1回目)	678万 6000円 (7.7%増)
水道事業会計 (1回目)	
収益的収支	収入 109万 4000円 (0.1%) 支出 70万 8000円 (0.1%)
資本的収支	収入 — 支出 54万 4000円 (0.1%)

23年度決算審議 全議員が問う！ 町のお金の使いかた …執行はどう答えたか



か伺います。また、生産量が少なければ付加価値も検討し、販路も再検討してはどうですか。
(答弁) エキナセアの効能については、成分分析の結果、カルシウムの量の多さや、必須アミノ酸がすべてそろっているという点などの栄養素面をPRしていきます。農商工連携では、今後商品のパッケージも全国展開できるようにものを検討していきます。

商工費 商工業振興事業の内容は
峯岸克明 商工業振興事業及び助成事業について伺います。また、ホンダ稼働を最大限に生かすための施策を伺います。
(答弁) リーマンショック対策の「寄居町チャレンジ資金」では68社に対し融資額9億4000万円余の利子1%を、また東日本大震災対策としての「寄居町経営安定特別資金」では25社に対し融資額2億8491万円の利子を補助しました。また景気対策として「住宅改修資金補助金交付制度」では申請45件に対し450万円補助し、4640万円余の経済効果がありました。来年のホンダ稼働に向けての商工業振興対策については、今後商工会等と相談して検討していきます。

商工費 観光振興事業補助金の内訳は
津久井康雄 平成22年度の観光振興事業補助金は、1012万8750円でした。平成23年度は1718万6250円に増加しましたが、その内訳を伺います。
(答弁) 第50回記念大会として、前夜祭や新たなイベントを含め北條まつりに1340万円、秋まつりに68万6250円、交通安全クラシックカーパレードに250万円、観光協会の寄居駅前観光案内所に60万円補助金を支出しました。なお、水天宮祭は、23年度は中止となったため補助金支出はありませんでした。

土木費 農免道整備の進捗は
原口昇 町道227号線(寄居小川道路)の整備が平成25年に完了します。これに連結する町道127号線(農免道)の整備は、ホンダ寄居新工場の稼働に伴う交通渋滞対策として大変重要です。その進捗状況を伺います。
(答弁) 未整備区間が約2.5キロメートルありますが、一度に全体の整備は困難なため、鉢形地区の1.0キロメートルを先行して行っています。

消防費 火災発生時のメール配信は
瀧澤忍 防災無線の補完のためのメール配信サービス、火災発生時についても配信する考えはありますか。
(答弁) 夜遅くから早朝の配信は控えますが、24年度は2回、鎮火のお知らせを配信しました。発生時に対しても速やかに対応していきます。配信サービスの周知にも努めてまいります。

教育費 図書館内、視聴覚用モニター更新は
鈴木詠子 図書館機能の充実はそのまま町の文化の向上につながります。図書館内の視聴覚コーナーにあるモニターを液晶に切りかえることで格段に画像がよくなり、省エネ効果にもなると考えますが、対応を伺います。
(答弁) 現在モニターは6台。年間で1400名の